

平成29年度
J-STAGE利用者満足度調査
【J-STAGE利用機関向け】

【目次】

【調査概要】

【詳細編】

- 電子ジャーナル情報発信への役立ち度
- 電子ジャーナル情報発信に役立っている理由
- 電子ジャーナル情報発信に役立っていない理由
- 国際発信力強化への役立ち度
- 国際発信力強化に役立っている理由
- 国際発信力強化に役立っていない理由
- 連携を希望するサイト
- J-STAGEの登載・公開作業担当者
- J-STAGEの登載時ファイル形式
- WEB搭載システム 利用理由
- 今後の全文XML形式移行予定
- 全文XML形式移行を考えていない理由
- インバーゴ期間
- インバーゴ期間 設定理由
- インバーゴ期間 今後の方針
- 公開記事閲覧の認証設定状況
- 認証期間
- 認証設定理由
- 認証期間 今後の方針
- リニューアル後の使用感
- リニューアル後追加機能の評価

■ 調査概要

調査目的

JSTが提供する主要な情報サービスについて、各サービスの利用状況、認知度、利用シーンや類似サービスとの比較・選択状況を明らかにするための調査を実施し、結果を事業企画に活用する。

対象者条件

J-STAGEでジャーナルを公開している機関

サンプル数

348機関

調査手法

インターネット調査

調査期間

2018年1月15日（月）～2月14日（水）



詳細編

<設問種別>

SA..... 単一回答

MA..... 複数回答

NA..... 数值回答

FA..... 自由回答

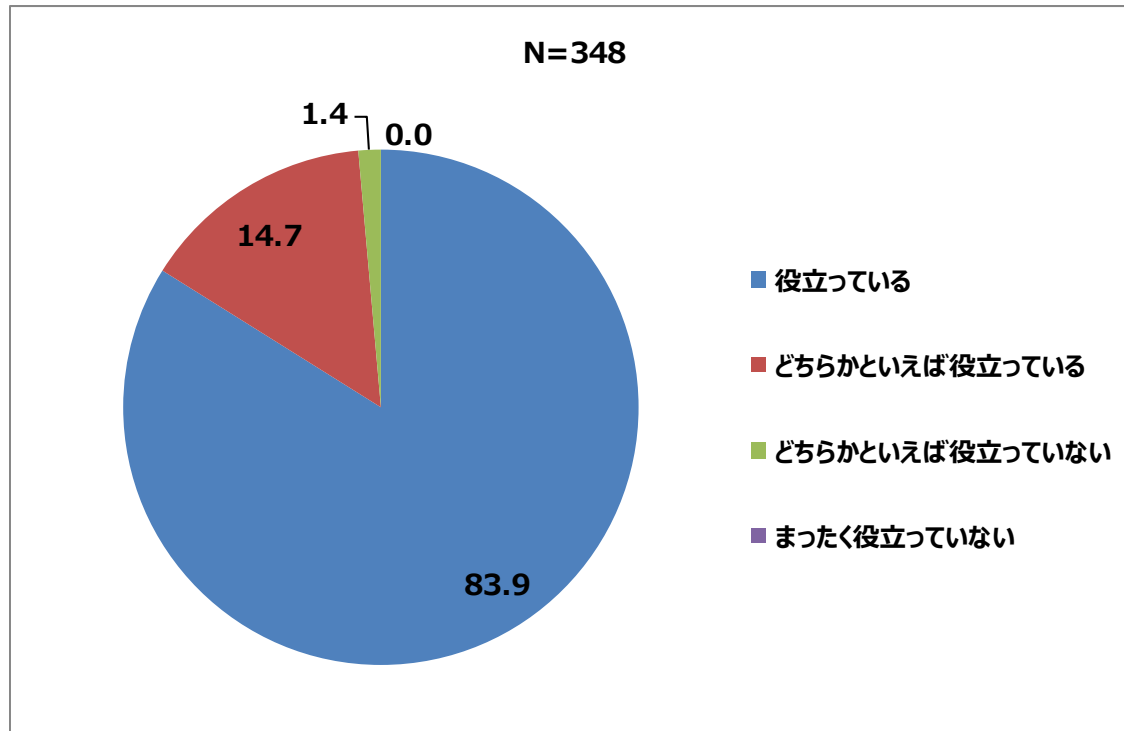
■ 電子ジャーナル情報発信への役立ち度

問1. J-STAGEは貴発行機関の電子ジャーナル情報の発信に役立っていると思いますか。（1つ選択）

- J-STAGEの役立ち度は、「役立っている」が83.9.%と最も高かった。「どちらかといえば役立っている」を含めたポジティブな回答は、98.6%を占め、大多数が満足した様子が伺える。

単位：%

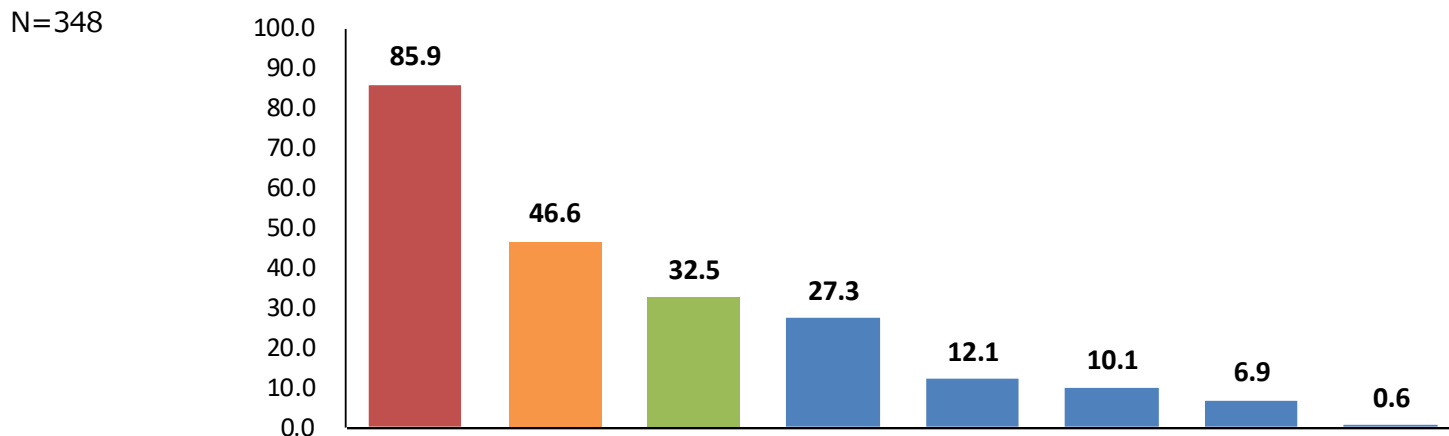
役に立っている 計	98.6
役に立っていない 計	1.4



■ 電子ジャーナル情報発信に役立っている理由

問2. J-STAGEは貴発行機関の電子ジャーナル情報の発信に役立っていると考える理由は何ですか。（複数選択可）（問1の回答にかかわらず、当てはまるものをすべてお選びください）

● 役立っている理由は、「電子データを公開できる」が85.9%と最も高く、次いで「DOI（デジタルオブジェクト識別子）を論文に付けられる」の46.6%、「J-STAGEに登載を始めてから閲覧数・引用数が増加した」の32.5%の順に続いている。



n=30以上で
■ 項目内で1位
■ 項目内で2位
■ 項目内で3位

N	電子データを公開できる	DOI（デジタルオブジェクト識別子）を論文に付けられる	J-STAGEに登載を始めてから閲覧数・引用数が増加した	早期公開ができる	録を公開できない電子提供	掲載数を始めから	その他	役立っていないと感じている	
全体	348	85.9	46.6	32.5	27.3	12.1	10.1	6.9	0.6

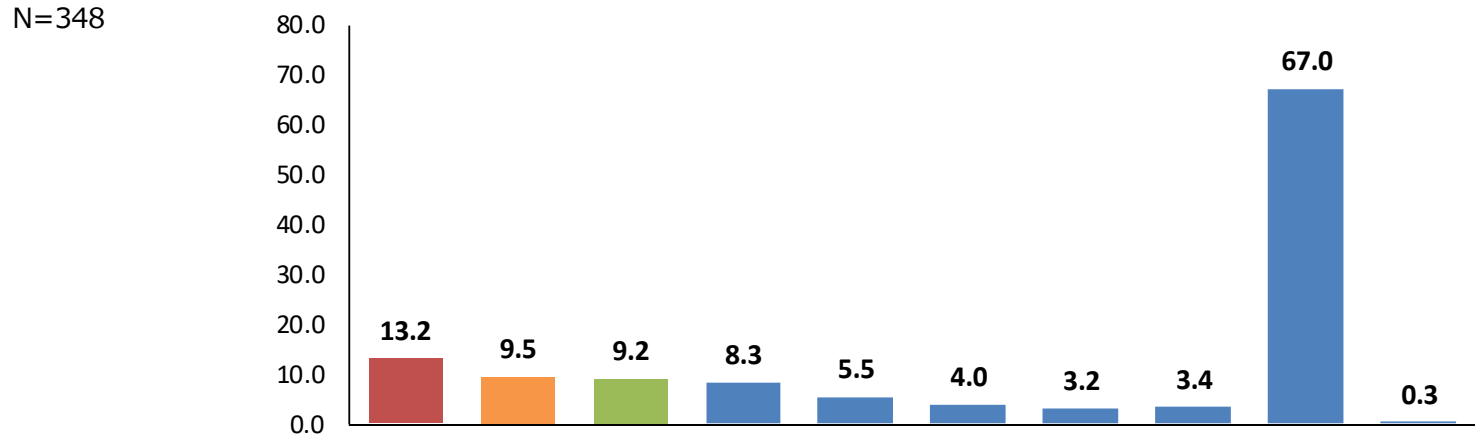
※全体値を降順に並び替え

※単位：%

電子ジャーナル情報発信に役立っていない理由

問3. J-STAGEが貴発行機関の電子ジャーナル情報の発信に役立っていないと考える理由は何ですか。（複数選択可）
 （問1の回答にかかわらず、当てはまるものをすべてお選びください）

- 役立っていない理由は、「投稿数に変化が見られない」が13.2%と最も高く、次いで「使いこなせていない（公開作業が複雑）」の9.5%、「使いこなせていない(使い方に関する情報が不足)」の9.2%の順に続いている。一方、67.0%は「役立っていないとは感じない」と回答している。



N	見られ ない	投稿 数に 変化 が	雑 （公 開作 業が 複 雑）	い （公 開作 業が 複 雑）	使 い こ な せ て い な い （公 開作 業が 複 雑）	る 情 報 が 不 足	い （使 い 方 に 関 す る 情 報 が 不 足）	使 い こ な せ て い な い （使 い 方 に 関 す る 情 報 が 不 足）	が 利 用 開 始 か ら 間 が な い	利 用 開 始 か ら 間 が な い	な い （J - S T A G E の 体 制 が 確 立 し て い な い）	S T A G E の 体 制 が 確 立 し て い な い	発 行 機 関 内 で J - S T A G E の 運 用 が 複 雑	雑 （認 証 設 定 が 複 雑）	い （認 証 設 定 が 複 雑）	使 い こ な せ て い な い	変 覧 数 ・ 引 用 数 に	そ の 他	と は 感 じ て い な い	役 立 て な い と 感 じ て い な い	無 回 答
全体	348	13.2	9.5	9.2	8.3	5.5	4.0	3.2	3.4	67.0	0.3										

n=30以上で
 ■ 項目内で1位
 ■ 項目内で2位
 ■ 項目内で3位

※全体値を降順に並び替え
 ※単位：%

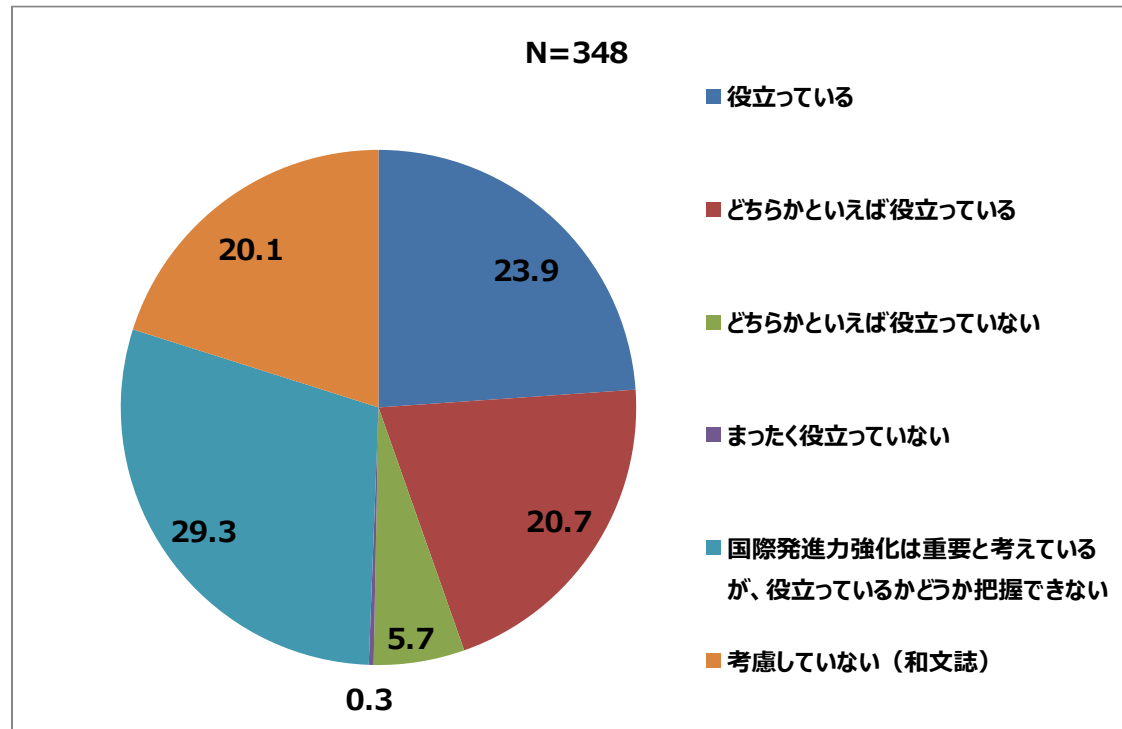
■ 国際発信力強化への役立ち度

問4. J-STAGEは貴発行機関の電子ジャーナル情報の国際発信力強化に役立っていると思われませんか。（1つ選択）

- J-STAGE情報の国際発信力強化への役立ち度は、「国際発信力強化は重要と考えているが、役立っているかどうか把握できない」が29.3%と最も高く、「役立っている」と「どちらかといえば役立っている」を足し上げたポジティブな回答は44.6%であった。

役立っている 計	44.6
役立っていない 計	6.0

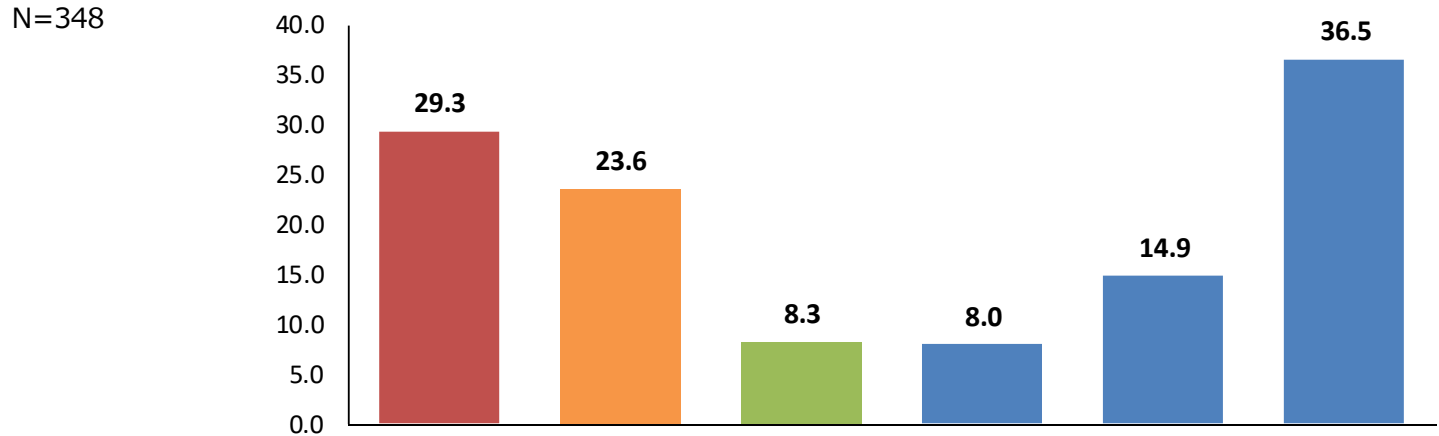
単位：%



■ 国際発信力強化に役立っている理由

問5. 国際発信力強化に役立っていると考えられる理由は何ですか。（複数選択可）（問4の回答にかかわらず、当てはまるものをすべてお選びください）

- 国際発信力強化に役立っている理由は、「検索エンジンや海外情報サービスからアクセスされる」が29.3%と最も高く、次いで「海外からの閲覧数・引用数が増加した」の23.6%、「海外からの投稿数が増加した」の8.3%の順に続いている。一方、「役立っているとは感じない」という回答が、36.5%と最も高くなっている。



n=30以上で

- 項目内で1位
- 項目内で2位
- 項目内で3位

	N	検索エンジンや海外情報サービスからアクセスされる	海外からの閲覧数・引用数が増加した	海外からの投稿数が増加した	海外からの問い合わせが増加した	その他	役立っているとは感じない
全体	348	29.3	23.6	8.3	8.0	14.9	36.5

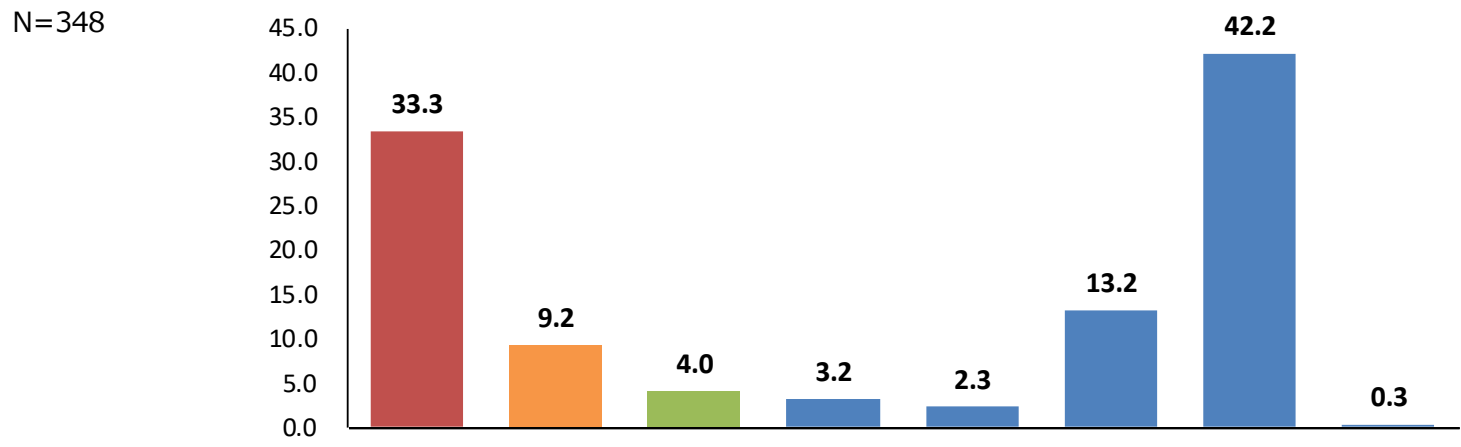
※全体値を降順に並び替え

※単位：%

国際発信力強化に役立っていない理由

問6. 国際発信力強化に役立っていないと考える理由は何ですか。（複数選択可）（問4の回答にかかわらず、当てはまるものをすべてお選びください）

● 国際発信力強化に役立っていない理由は、「国際発信力強化をさほど重視していないため（和文誌である等）」が33.3%と最も高く、次いで「J-STAGEの機能・サービスを十分活用できていないため」の9.2%、「J-STAGEのプロモーション・PRが足りないため」の4.0%の順に続いている。一方、「役立っていないと感じない」という回答が、42.2%と最も高くなっている。



N	で あ る 等	な い め （ 和 文 誌	さ ほ ど 重 視 し て い な い た め	国 際 発 信 力 強 化 を さ ほ ど 重 視 し て い な い た め	な い た め	十 分 活 用 さ せ が な い た め	J - S T A G E の 機 能 ・ サ ー ビ ス を 十 分 活 用 で き て い な い た め	J - S T A G E の プ ロ モ ー シ ョ ン ・ P R が 足 り な い た め	め が な い た め	等 が な い た め	J - S T A G E の 機 能 ・ サ ー ビ ス を 十 分 活 用 で き て い な い た め	J - S T A G E の プ ロ モ ー シ ョ ン ・ P R が 足 り な い た め	め が な い た め	海 外 向 け の サ ー ビ ス が な い た め	サ ー ビ ス が な い た め	J - S T A G E の 機 能 ・ サ ー ビ ス を 十 分 活 用 で き て い な い た め	そ の 他	と 役 立 て な い と 感 じ な い	無 回 答
全体	348	33.3	9.2	4.0	3.2	2.3	13.2	42.2	0.3										

n=30以上で
■ 項目内で1位
■ 項目内で2位
■ 項目内で3位

※全体値を降順に並び替え
 ※単位：%

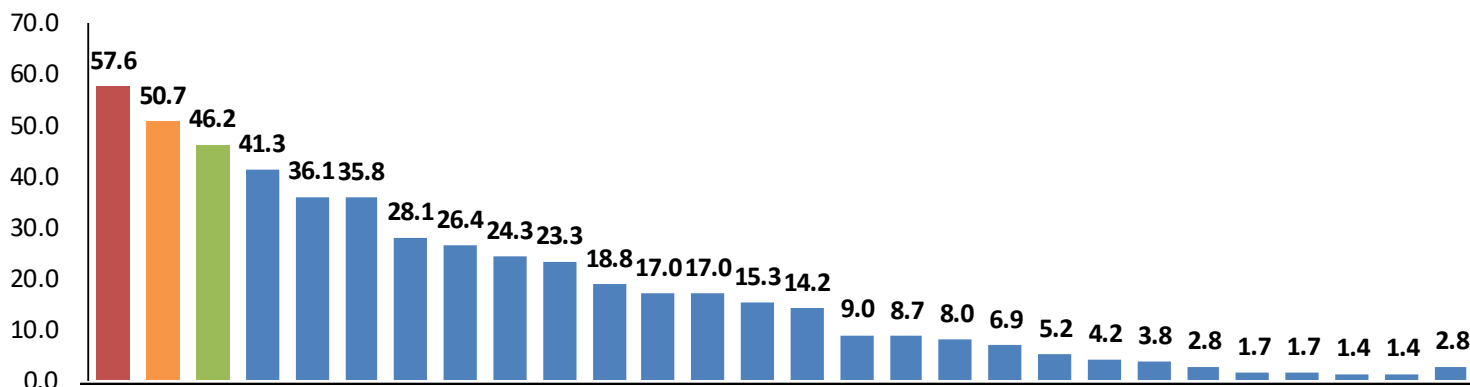
連携を希望するサイト

問7. J-STAGEがどの論文掲載サイト、論文検索サイト等と連携を強化する（あるいは新規に連携する）と、貴誌の閲覧される可能性が高くなると考えますか。（複数選択可）

- 連携強化、新規連携により閲覧される可能性が高くなると思われるサイトは、「Google Scholar (Google)」が57.6%と最も高く、次いで「CiNii (国立情報学研究所)」の50.7%、「Googleサーチ (Google)」の46.2%の順に続いている。

任意回答

N=288



n=30以上で
■ 項目内で1位
■ 項目内で2位
■ 項目内で3位

N	Google Scholar (Google)	CiNii (国立情報学研究所)	Googleサーチ (Google)	国立国会図書館サーチ (国立国会図書館)	Web of Science (クラリベイト・アナリティクス)	PubMed (NLM)	ScienceDirect (Elsevier)	J-GLOBAL (JST)	医中誌Web (医学中央誌刊行会)	ORCID (ORCID)	ORCID (ORCID)	メテオ (メテオ)	ResearchGate (ResearchGate)	SciFinder (SciFinder)	JDRAM III (JDRAM III)	IEEE Xplore (IEEE)	NBDC (JST)	Discovery (Discovery)	CAS Fulltext (CAS)	東日本大震災アライアンス (国立国会図書館)	Sumon PromQuest LLC (Sumon PromQuest LLC)	NDSTL (KISTI 韓国科学技術情報研究院)	Ex Libris (Ex Libris)	WPRIM (WHO 西太平洋地域事務局)	TRID (TRB)	その他			
全体	288	57.6	50.7	46.2	41.3	36.1	35.8	28.1	26.4	24.3	23.3	18.8	17.0	17.0	15.3	14.2	9.0	8.7	8.0	6.9	5.2	4.2	3.8	2.8	1.7	1.7	1.4	1.4	2.8

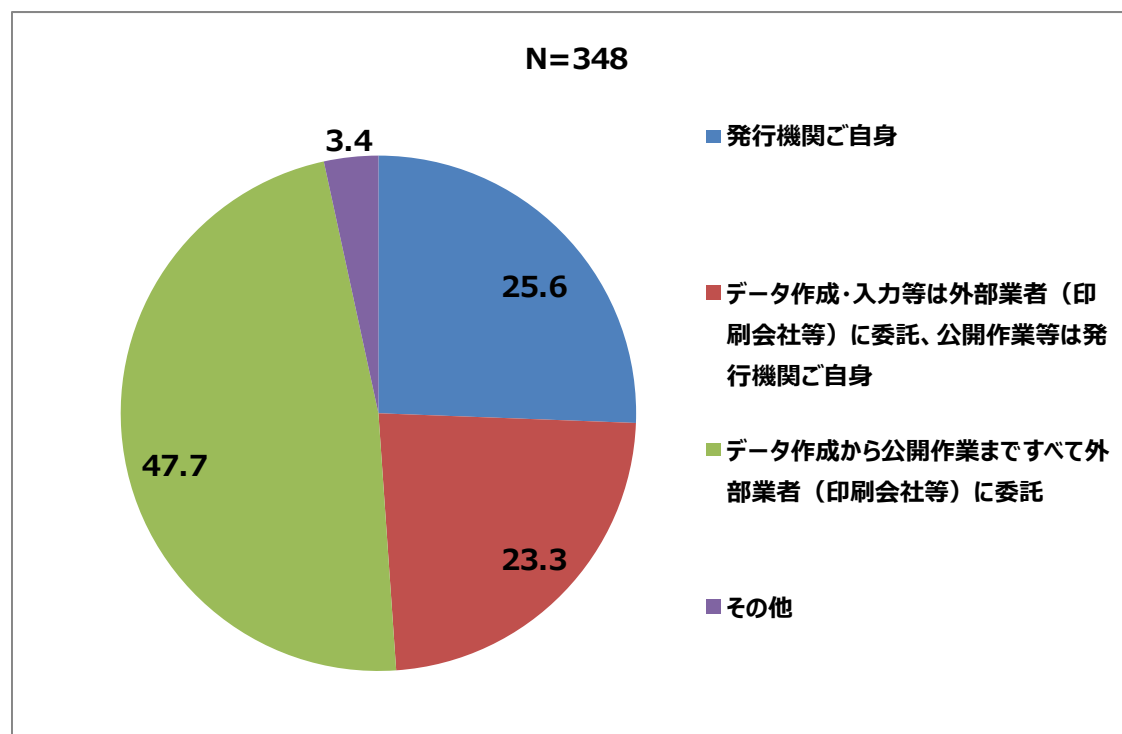
※全体値を降順に並び替え
 ※単位：%

■ J-STAGEの登載・公開作業担当者

問8. J-STAGEへの登載・公開作業はどなたがおこなっていますか。（1つ選択）

- J-STAGEの登載・公開作業担当は、「データ作成から公開作業まですべて外部業者（印刷会社等）に一任」が47.7%で半数弱を占めた。

単位：%

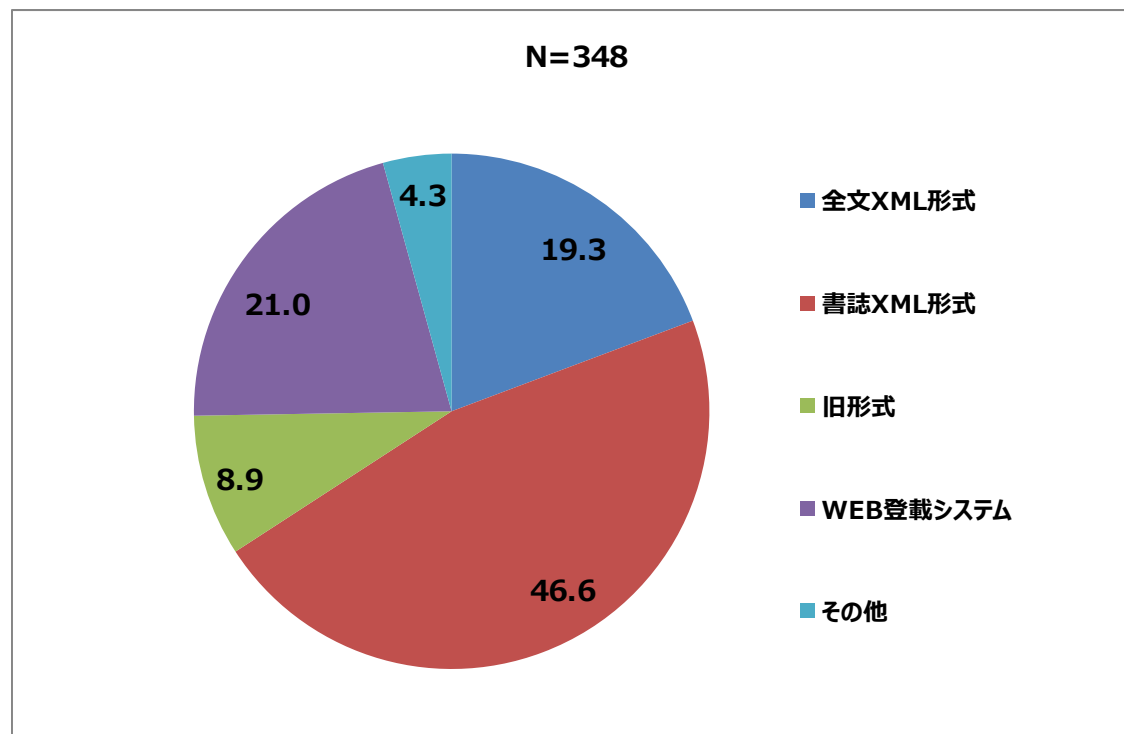


■ J-STAGEの登載時ファイル形式

問9. J-STAGEに記事を登載する際、どのファイル形式を利用していますか。（1つ選択）

- J-STAGE記事を登載する際のファイル形式は、「書誌XML形式」が46.6%で半数弱を占める結果となった。

単位：%

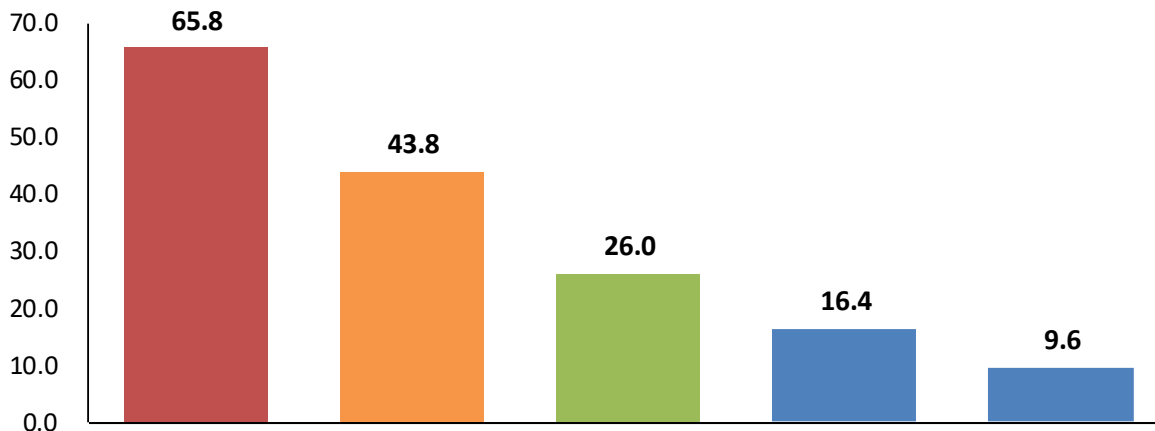


WEB搭載システム 利用理由

質問10. WEB搭載システムをご利用の理由を教えてください。（複数選択可）

- WEB搭載システムの利用理由は、「J-STAGEの利用が容易に開始できるため」が65.8%と最も高く、次いで「掲載記事数が少ないため」の43.8%、「XML形式のデータ作成が技術的に困難なため」の26.0%の順に続いている。

WEB搭載システム利用者
N=73



n=30以上で

- 項目内で1位
- 項目内で2位
- 項目内で3位

N	J-STAGEの利用が容易に開始できるため	掲載記事数が少ないため	XML形式のデータ作成が技術的に困難なため	XML形式のデータ作成が技術的に困難なため	その他	
全体	73	65.8	43.8	26.0	16.4	9.6

※全体値を降順に並び替え

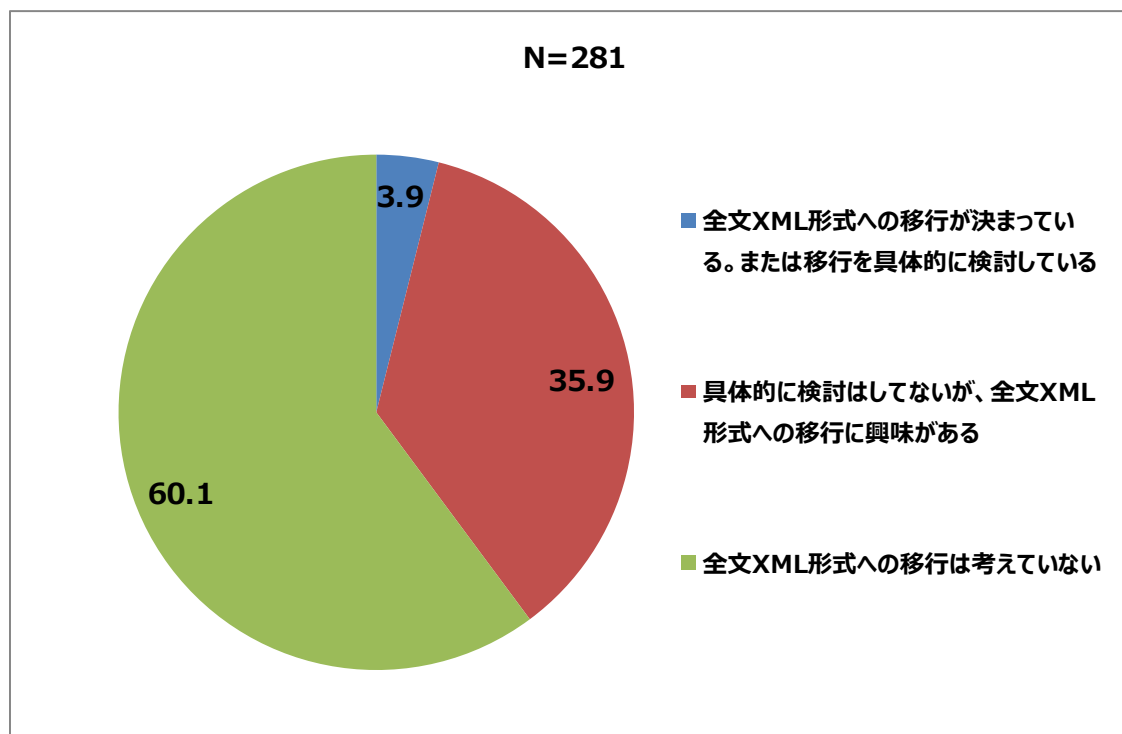
※単位：%

■ 今後の全文XML形式移行予定

問11. 今後全文XML形式に移行する予定はありますか。（1つ選択）

- 今後の全文XML形式への移行予定は、「全文XML形式への移行は考えていない」が60.1%を占めた。

全文XML形式非利用者

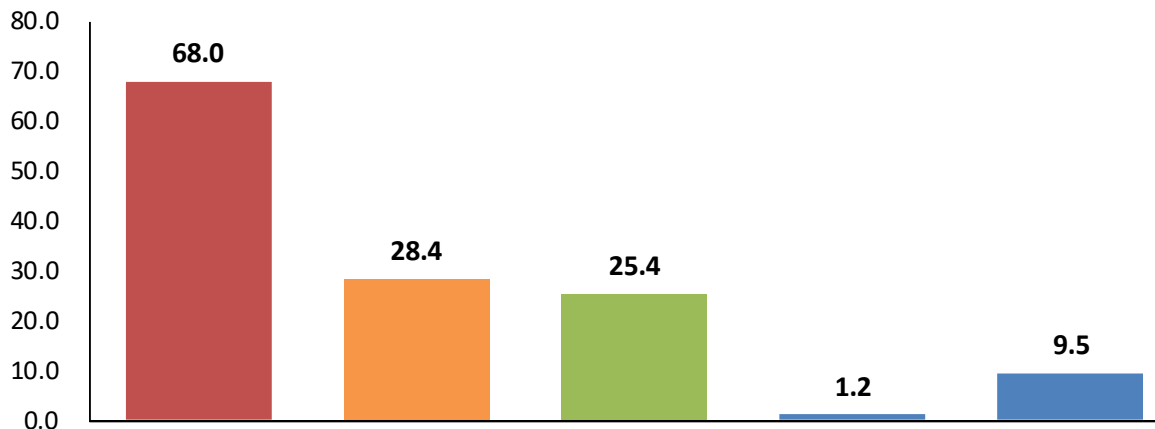


■ 全文XML形式移行を考えていない理由

問12. 全文XML形式への移行を考えていない理由は何ですか。(複数選択可)

- 全文XML形式への移行を考えていない理由は、「全文はPDF形式の公開で十分と考えている」が68.0%と最も高く、次いで「全文XML形式のデータ作成コストが高い」の28.4%、「そもそも全文XML形式が何かよく分からない」の25.4%の順に続いている。

全文XML形式非移行者
N=169



n=30以上で
■ 項目内で1位
■ 項目内で2位
■ 項目内で3位

N	全文公開で十分と考えている	全文XML形式のデータ作成コストが高い	そもそも全文XML形式が何かよく分からない	全文XML形式が何かよく分からない	その他	
全体	169	68.0	28.4	25.4	1.2	9.5

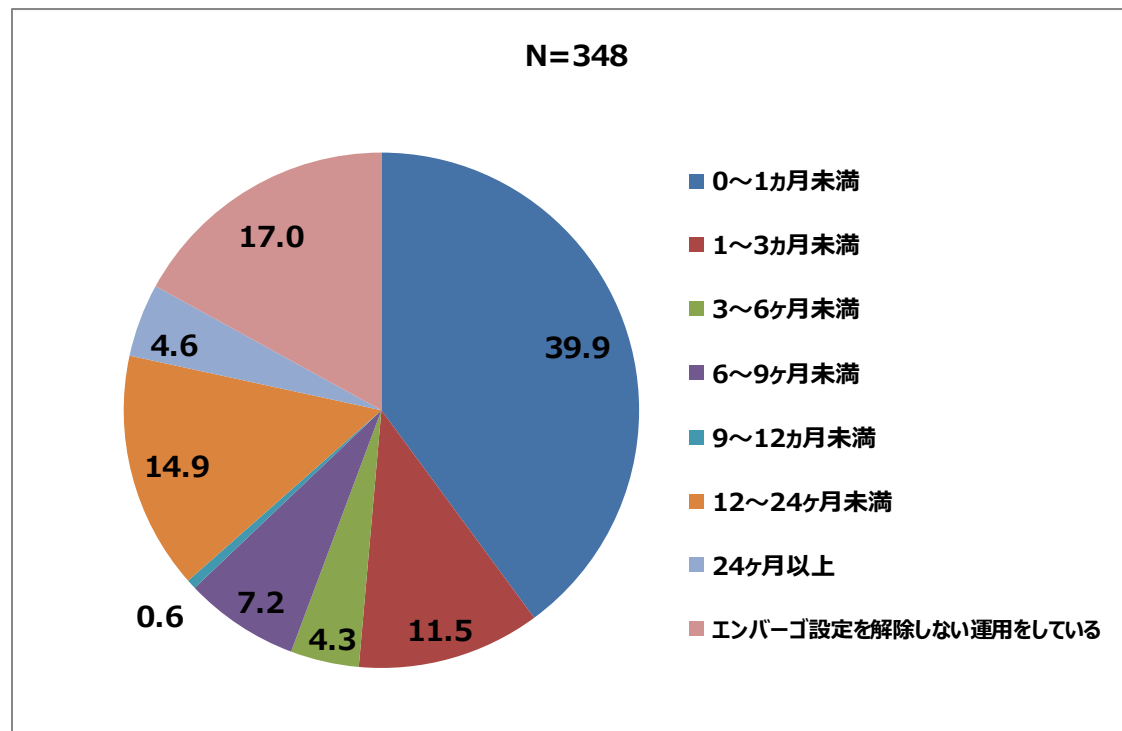
※全体値を降順に並び替え
 ※単位：%

■ エンバーゴ期間

問13. エンバーゴ期間*はどの程度ですか。(数値記入) *冊子発行からJ-STAGE公開までの期間

- エンバーゴ期間は、「0～1か月未満」が39.9%と最も高く、次いで「12～24ヶ月未満」の14.9%、「1～3か月未満」の11.5%の順に続いている。また、「エンバーゴ設定を解除しない運用をしている」は17.0%となった。

単位：%

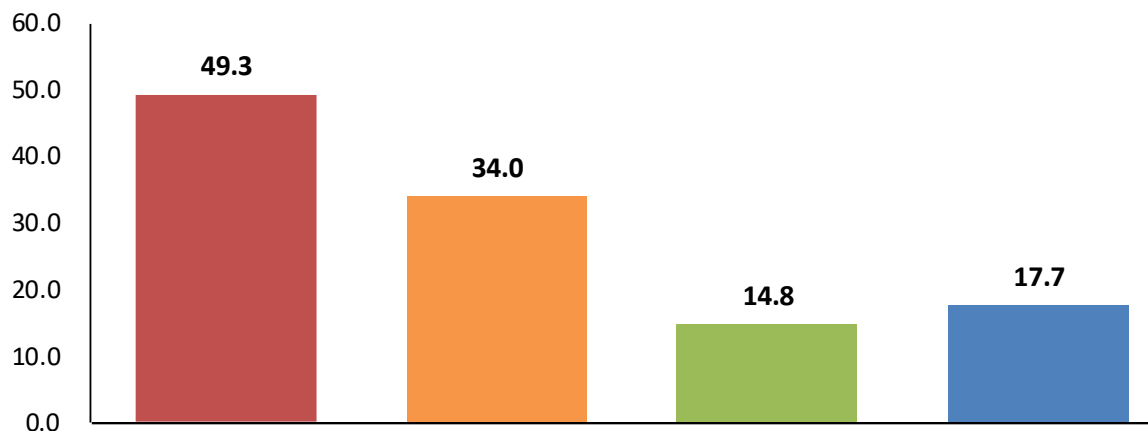


■ エンバーゴ期間 設定理由

問14. エンバーゴ期間を設けている理由を教えてください。（複数選択可）

● エンバーゴ期間の設定理由は、「会員へのメリットのため」が49.3%と最も高く、次いで「公開作業に時間がかかるため」の34.0%、「冊子、他サイトで有料のため」の14.8%の順に続いている。

エンバーゴ期間 設定者（1ヶ月以上）
N=209



n=30以上で

- 項目内で1位
- 項目内で2位
- 項目内で3位

	N	ト会 の員 たへ め のメ リ ツ	が公 開 作 業 に 時 間	で冊 有子 料、 の他 たサ イト	そ の 他
全体	209	49.3	34.0	14.8	17.7

※全体値を降順に並び替え
※単位：%

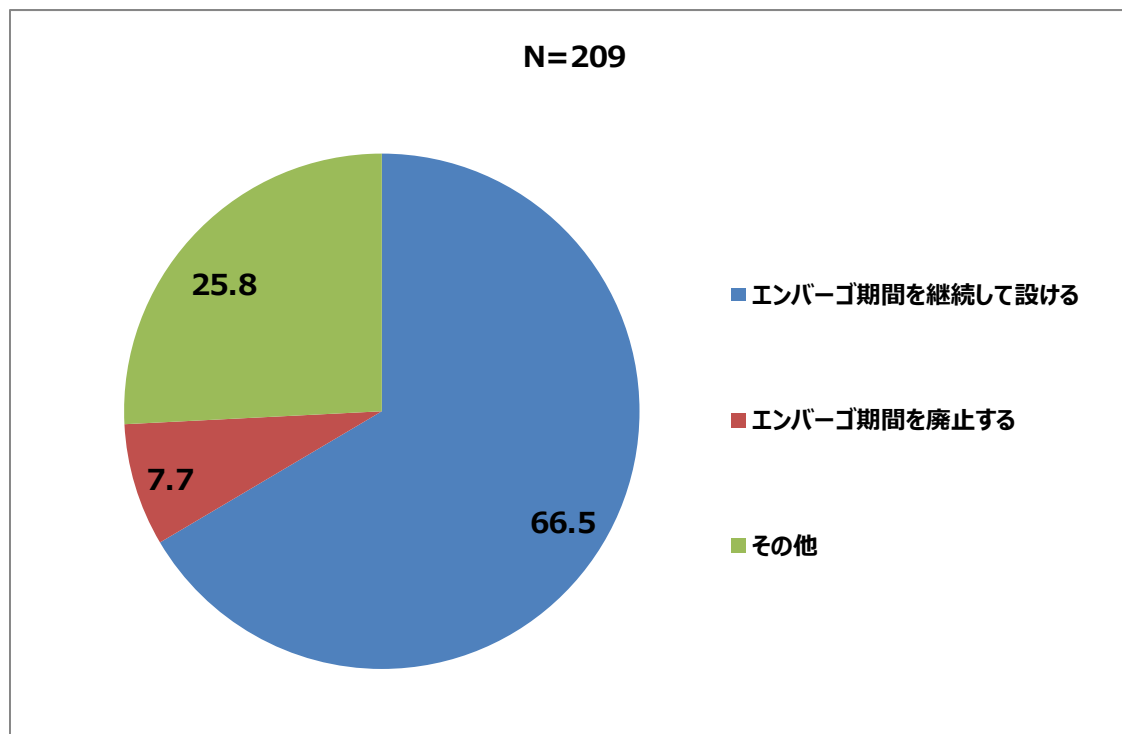
■ エンバーゴ期間 今後の方針

問15. エンバーゴ期間についての今後の方針を教えてください。（1つ選択）

- エンバーゴ期間の今後の方針については、「エンバーゴ期間を継続して設ける」が66.5%と半数以上を占めている。

エンバーゴ期間 設定者（1ヶ月以上）

単位：%

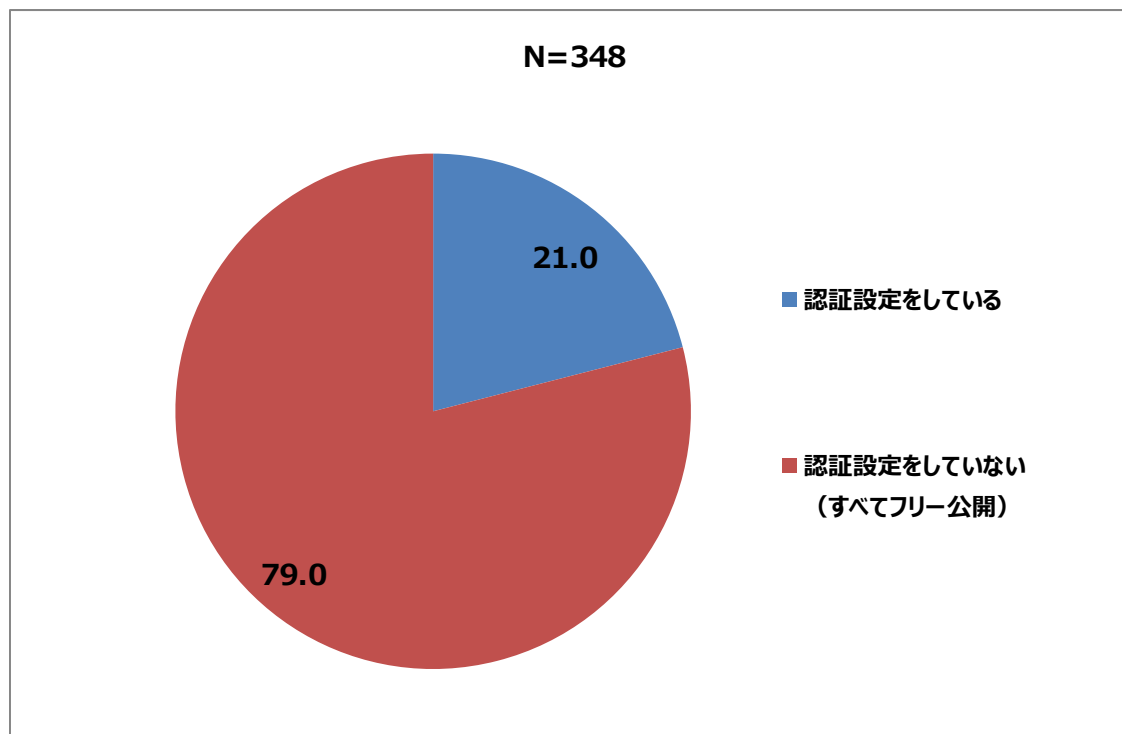


■ 公開記事閲覧の認証設定状況

問16. 貴誌はJ-STAGEでの公開記事の閲覧に認証設定をしていますか。（一部記事のみに認証設定をしている場合も含まれます。）（1つ選択）

- 公開記事閲覧の認証設定状況は、「認証設定をしていない（すべてフリー公開）」が79.0%と大多数を占めている。

単位：%



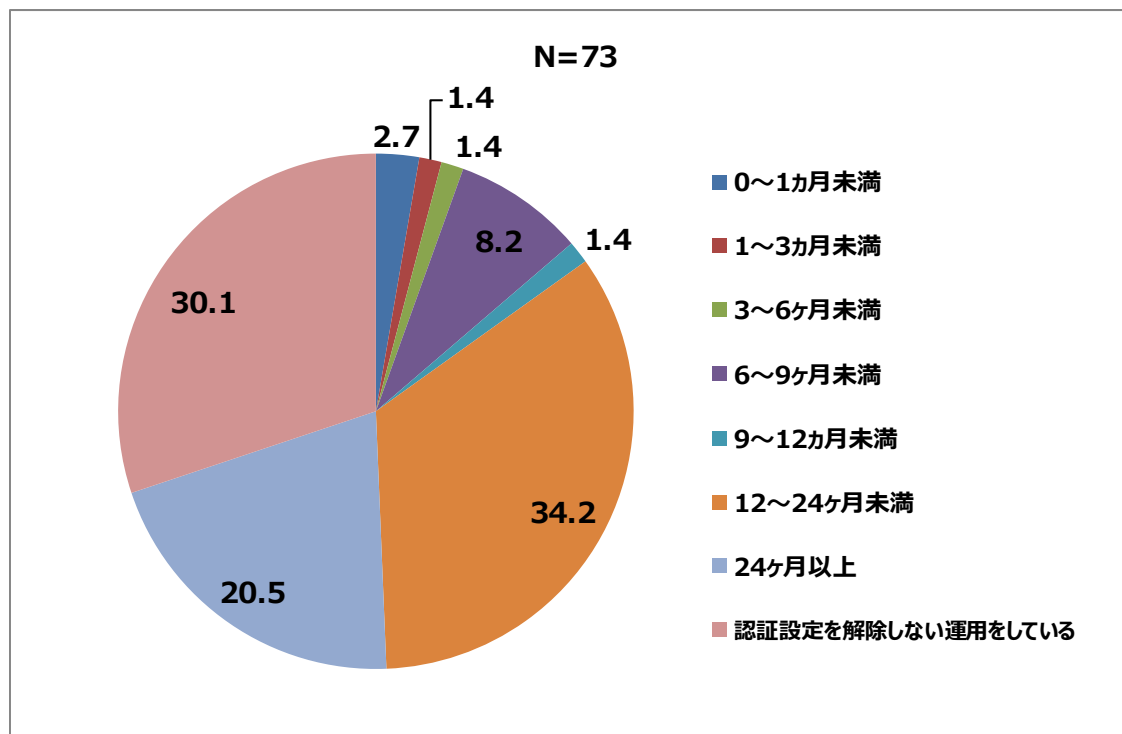
■ 認証期間

問17. 認証の期間*はどの程度ですか。(数値記入) *J-STAGE登載から認証解除までの期間

- 認証期間は、「12～24か月未満」が34.2%と最も高く、次いで「24か月以上」の20.5%、「6～9か月」の8.2%と続いている。また、「認証設定を解除しない運用をしている」は30.1%となった。

認証設定 利用者

単位：%



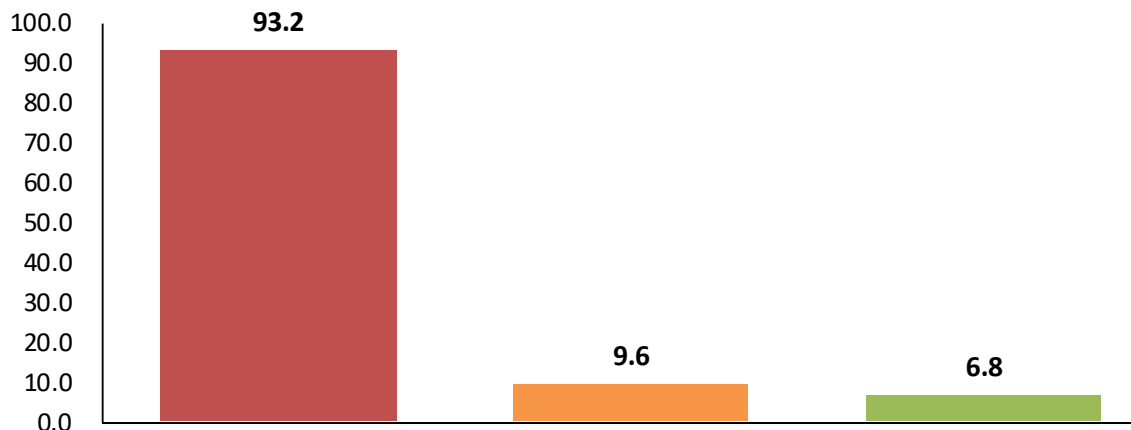
■ 認証設定理由

問18. 認証設定をしている理由を教えてください。(複数選択可)

- 認証設定をしている理由は、「会員へのメリットのため」が93.2%と突出して高かった。

認証設定 利用者

N=73



n=30以上で

- 項目内で1位
- 項目内で2位
- 項目内で3位

	N	会員へのメリット	個人情報保護のため	その他
全体	73	93.2	9.6	6.8

※全体値を降順に並び替え

※単位：%

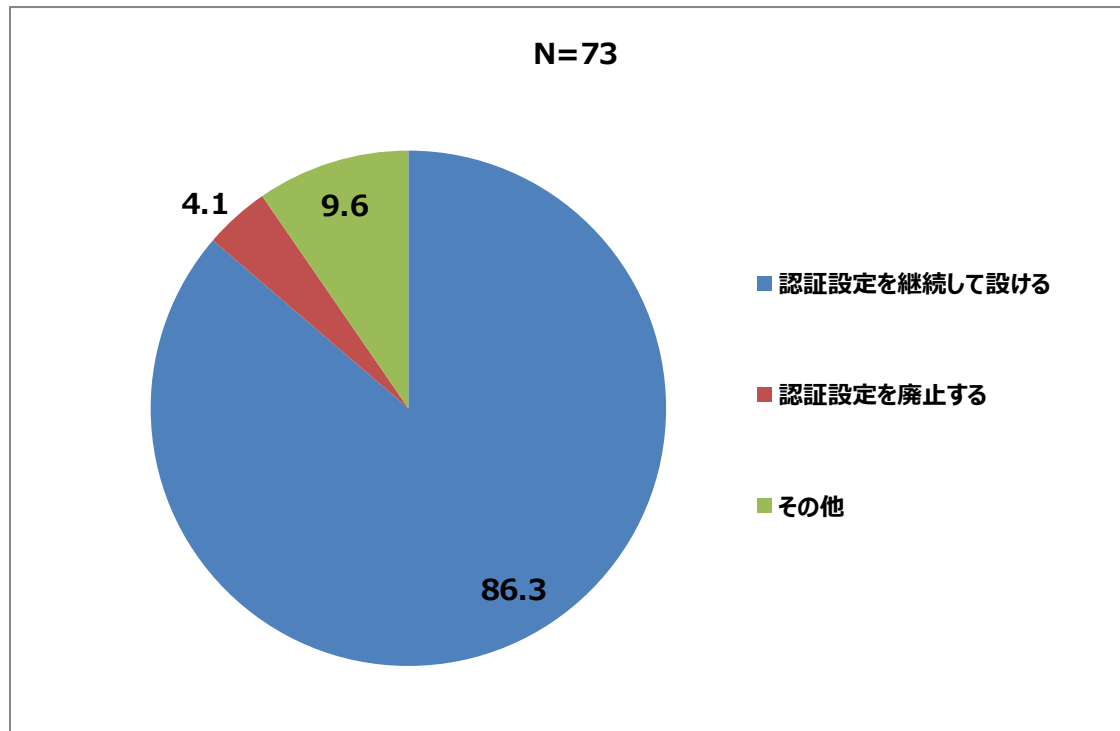
■ 認証期間 今後の方針

問19. 認証設定についての今後の方針を教えてください。（1つ選択）

- 認証期間の今後の方針については、「認証設定を継続して設ける」が86.3%と大多数を占めている。

認証設定 利用者

単位：%



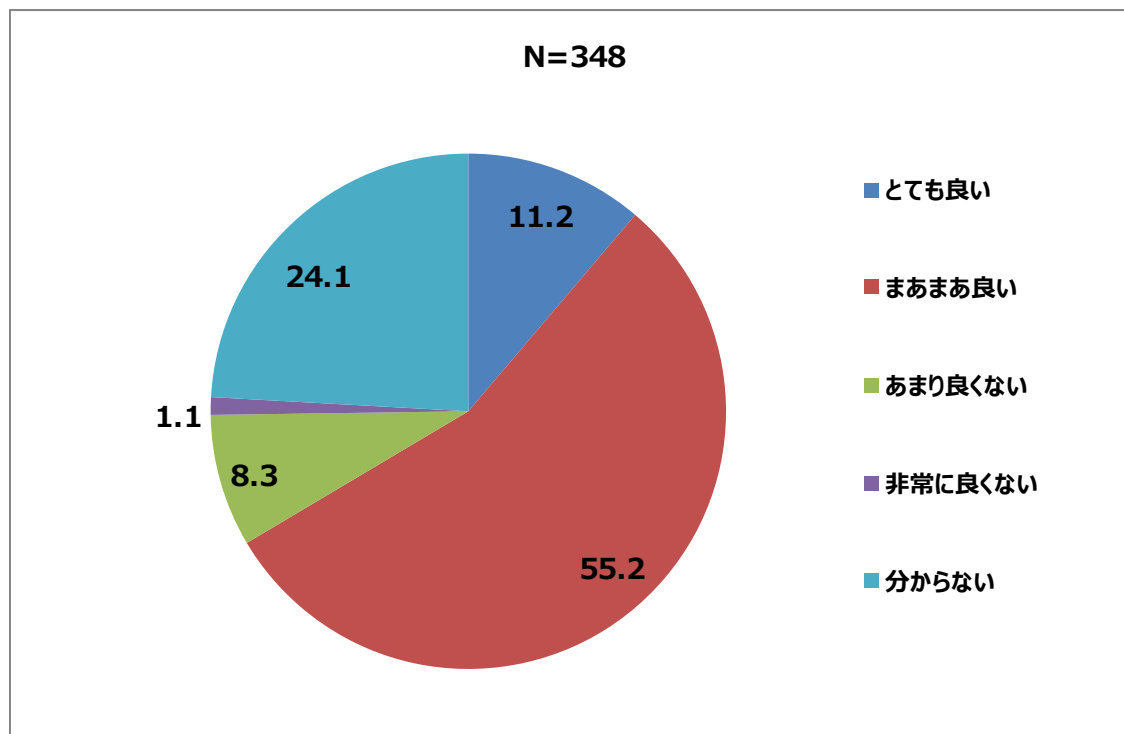
■ リニューアル後の使用感

問20. J-STAGEでは2017年11月25日に画面インターフェースを一新し、機能の追加を行いました。その使用感を教えてください。（1つ選択）

- J-STAGEリニューアル後の使用感については、半数以上の66.4%が「良い」というポジティブな回答であった。

良い 計	66.4
良くない 計	9.4

単位：%



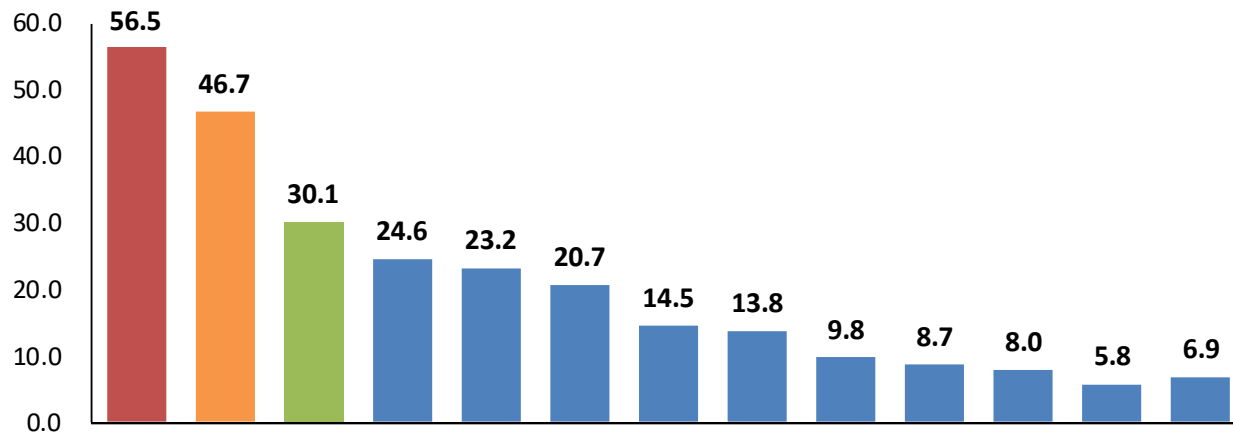
■ リニューアル後追加機能の評価

問21. 新たな画面インターフェースにおいて機能を追加しました。電子ジャーナルの情報発信をしていく上で特に有益であると思われる機能を教えてください。（複数選択可）

● リニューアル後追加機能の中で特に有益であると思われる機能は、「アクセスランキング表示」が56.5%と最も高く、次いで「最新号記事表示」の46.7%、「おすすめ記事表示」の30.1%の順に続いている。

任意回答

N=276



n=30以上で

- 項目内で1位
- 項目内で2位
- 項目内で3位

N	アクセスランキング表示	最新号記事表示	おすすめ記事表示	モバイル端末での表示最適化	ジャーナル紹介	閲覧履歴表示	ウイジェットエリア（お知らせ等、利用機能がカスタマイズ可能）	編集委員紹介	連携し著者関連	「Mendeley」文献管理ソフト	表示し記事関連情報等を連携し表示	J-GLOBALと連携し表示	全文HTML表	その他
全体	276	56.5	46.7	30.1	24.6	23.2	20.7	14.5	13.8	9.8	8.7	8.0	5.8	6.9

※全体値を降順に並び替え

※単位：%